



台東区立金竜幼稚園
とうきょうすくわくプログラム
活動報告



テーマ
「自然」

キラキラ笑顔 ワクワク自然
元気いっぱい金竜っ子

テーマ設定の理由

本園は自然環境に恵まれており、園児は日常的に植物、虫などの生き物などに関わることができるため、自然への興味・関心が強い。そこで、この環境を十分に生かし、子供たちが自分で、また友達と一緒に、発見や試すことを楽しみながら、豊かな感性や知的好奇心を育むことを目的として、上記のテーマを設定した。



目次

01 活動スケジュール

02 活動①～色水遊び～

03 活動②～イモムシとの出会い～

04 活動③～染物実験～



01

活動スケジュール

活動スケジュールについて

○学期ごと

- ・園内で様々な生き物、植物などに繰り返し触れる中で、自分なりに感じたり気づいたりしたことを、様々な方法で表現する。
- ・道具を活用することで、さらによく見たり、試したり、友達と考えや気づきを交流させる面白さを感じる。
- ・各学年に適した野菜を親子で栽培したり、畑で育てたりして、生長の様子を観察したり、収穫の喜びを味わったりする。

○5月、11月、2月

- ・外部講師と園内の自然を探索し、園内の自然について知ったり発見したりすることを楽しむ。
- ・その内容から園児の関心が強い事象について、さらに継続して関わりを深めていく。



02

活動①～色水遊び～（3歳児）

●準備したもの

- ・朝顔、キバナコスモスの花びら
- ・飼育ケース（できた色水を入れると見えやすい）
- ・ポリ袋（小さめのもの）
- ・醤油ケース（スポイト）→水の量を調整できてよい
- ・プリンカップ

●活動内容

- ・キバナコスモスや朝顔の花びらを使った色水遊び

●子供たちの様子

- ・袋に花びらを入れて、しょうゆケースで水を入れ、揉んでみたり振り回してみたり、水の量を調節したりして、3歳児なりに工夫する姿があった。
- ・できた色水同士を混ぜて色が変わっていく様子を楽しんでいた。
- ・「水の量を増やすと濃い色ができるかも！」と、まだ論理的に正しい予想がつかない姿もあるが、自分なりの予想を試すように色水づくりをやってみる姿もあった。



●振り返りをふまえた気づき

- ・色の濃さを試したり、どのようにしたら色がよく出るのか工夫したりと、3歳児なりの探究的な活動を行うことができた。
- ・他児の活動の様子がよく見え、わかりやすかったことで、「自分もやってみたい！」という気持ちにつながっていった。

02

活動②～イモムシとの出会い～（4歳児）

●準備した物

- ・飼育ケース
- ・イモムシ図鑑
- ・サツマイモの葉

●活動内容

- ・外部講師との自然探検の翌日に保育室前でイモムシに出会う。

●子供たちの様子

- ・イモムシ図鑑を持ってきて調べる。
- ・ドキドキしながら触ったり、餌になるサツマイモの葉をあげたりするうちに、イモムシのことがどんどん好きになっていた。



●振り返りをふまえた気づき

- ・興味をもってじっくりと関わることで、怖さが無くなり、イモムシのことがどんどん好きになっていた。
- ・楽しそうに関わる教師や友達が存在することで、安心してイモムシと関わったり、自分も何かしてみたいという思いにつながったりしていた。

●準備した物

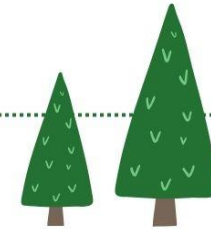
染色する素材（玉ねぎの皮、にんじんの葉、マリーゴールドの花）
模様をつける教材（白い布、ビー玉、割りばし、洗濯ばさみ、輪ゴム
カセットコンロ、鍋、おたま、ボール

●活動内容

- ・野菜の皮や葉、花を使って、ハンカチを染める。
- ・育てていたマリーゴールドの花を使って、ハンカチに色がつくか実験をする。

●子供たちの様子

- ・実際に葉や花を目の前で煮出すことで、色が変わっていくことに気づき、友達と色やににおいて、感じたことを伝え合っていた。
- ・野菜の皮、葉っぱでの染物の先行経験から、花を使った際には、色を予想したり、色が濃くなっていく面白さを感じたりしていた。



●振り返りをふまえた気づき

- ・煮出すことで実際に色が変わっていく様子を見たことが、染物への興味をもつきっかけとなった。
- ・新たな素材で染物をしたときは、先行経験から、色を予想したり、煮出すことで色が濃くなることに気付いたりしていた。
- ・経験を重ねることで、遊びの中で他の花の染物をすることも楽しむようになった。煮出さず植物をすりつぶした色水で染めたら？干した葉っぱを使って染めたらどうなる？など、自分たちなりに考え、試行錯誤しながら楽しむ姿が見られた。